

(3) 直接費と間接費

「直接費」とは、“製品”や“加工品”(あるいは製番)(生産する対象のもの)と投入する原価材が“直接紐づいている(投入する原価材の明細に製品コードが記されている)”ものを言います。BOXを繋ぐ矢印線のうち**青い矢印**が直接費の流れを表します。

「間接費」とは、紐づいていないものを言います。しかし、決算の原価計算上は「間接費」も製品の原価に最終的には組み込まなくてはなりません(総原価の原則)。そのため「間接費」も“配賦”という方法によって製品に紐付かせます。BOXを繋ぐ矢印線のうち**オレンジの矢印**が間接費の流れを表します。

さらに原価材を「間接費」として処理するか否かの判断は、製品コードを持っているかだけでなく、原価要素ごとに以下の通りとなります。

原価要素	間接費の判断
材料	①製品コード(あるいは製番)がないもの ②「材料受払」を記録しない品番コード(「棚卸法」の品番) ③会計仕訳で入力された材料仕入
労務費	①製品コード(あるいは製番)がないもの ②原価部門が“製造部門”でない労務費 ③原価部門が“製造部門”の労務費で「間接費」として把握された労務費
外注費・経費	①製品コード(あるいは製番)がないもの ②会計仕訳からの取込データ



尚、上記は製造原価に関する説明ですが、販管費に関する直接費・間接費の意味合いも同じです。

SHINでは「原価差異配賦」機能の中の「売上原価」の製別配賦の中で、売上金額に応じた販管費の配賦のみ参考数値で表示できます。

直接費(製品と紐づけあり)と間接費(製品と紐づけなし)の区分と前述の「部門個別費」「部門共通費」の関係は以下である。

